

依頼者	蟹江町立須西小学校
タイトル	水に関する環境学習とキャリア教育を絡めたプログラム
<p><u>コーディネーターへの相談内容</u></p> <p>○依頼者のご要望</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域が「水の町」とも言われ、水とは切っても切れない関係であるため、「水の環境学習」をしたい。 ・キャリア教育を行っているので、「働くこと」に関する学習をしたい。 ・上記の2つのテーマを絡めた内容で実施できるよう企画及び講師の調整を行ってほしい。 	
<p><u>コーディネーターの対応</u></p> <p>○外部講師の紹介</p> <p>世界の水に関する体験や参加型ワークショップを実施している団体、愛知県建設部河川課、自然体験学習実践団体をリストアップした。担当者と検討し、水に関するプログラムについても経験が豊富で、楽しみながら、身近な自然のふしぎや、おもしろさに気づくプログラムづくりをしており、体験型ワークを行う資格も有しているNPO法人もりの学舎自然学校 浜口祐子氏 廣岡貴志氏に依頼した。</p> <p>○学習内容の提案</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体験型のプログラム、子どもたちが話し合う場をつくること。 ・キャリア教育の一環として、プログラムの最後に、浜口氏にインタープリターという仕事について話していただくこと。 ・授業プログラムに即した学習内容にするために、依頼者が考えている授業内容を、外部講師に伝え、当日の内容に反映すること。 	
<p><u>学習内容</u></p> <p>「雨粒になって旅をしよう！」</p> <p>①はじめに（5分）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・インタープリターあいさつ、自己紹介 ・簡単な体操（水の中の生き物になったつもりで体を動かす、など） <p>②水のアクティビティ（25分）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水クイズ（蟹江の水のことや、私たちが普段使っている水の量についてのクイズ） ・先生扮する「水の神」によるルール説明 ・水くみ競争（井戸に見立てた簡易プールから、1日に使う水を汲んでくる） <p>③体験ゲーム（60分）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水をつぶの旅（2人一組で水をつぶになり、サイコロの目に従って移動する） ・水をつぶの旅ものがたり（水をつぶがどのように旅をしてきたか、物語を作る） ・まとめ（作った物語と体験した感想を共有） <p>④仕事の話（10分+質疑応答10分）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水に関わる仕事を挙げてみよう ・インタープリターってどんな仕事？ ・なぜ、この仕事に就こうと思ったのか ・この仕事をしていてよかったこと、大変だったこと 	

⑤おわりに（5分）

- ・今日のふりかえり、感想共有
- ・講師から子どもたちへのメッセージ

コーディネーターに対する感想

○依頼者

- ・体を動かすことが中心だったので、最後まであきらめことなく講座が進んだ。
- ・動くことが大好きな子どもたちなので、サイコロや水汲みゲームは楽しかった。
- ・水がいろんな所でいろんな形になって巡っているのを、子どもたちに理解させることが出来た。

○外部講師

- ・先生方の求めている内容と、講師の持っているノウハウを、うまくマッチングできた。
- ・先生方の希望をお聞きした上で、プログラムを組み立てることができた。
- ・先生方の声を直接お聞きでき、現地の下見ができた。
- ・学校と講師の間に立って、情報の整理と調整をしてもらえた。
- ・学校から直接講師を依頼された場合、連絡・調整は先生方が対応可能な時間帯に限られるため、連絡が取りづらい状況があるが、円滑に調整が進められた。
- ・この仕組みは、学校、講師双方にとって良い。
- ・先生方にもプログラムの一部分に加わっていただき、連携して実施することができた。

その他

特になし

依頼者	瀬戸市立道泉小学校
タイトル	「ウサギの飼育」を通して命や環境の大切さを伝える授業
<p><u>コーディネーターへの相談内容</u></p> <p>○依頼者のご要望</p> <p>「ウサギの飼育」を通して命の大切さを伝える授業を実施したい</p>	
<p><u>コーディネーターの対応</u></p> <p>○外部講師の紹介</p> <p>小学校での授業経験があり、「ウサギの飼育方法」に詳しい岩倉動物病院の加藤英樹氏に決定した。</p> <p>○学習内容の提案</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ウサギの生態や飼い方だけではなく、動物を飼うこと、命を預かることの重さや大切さ、ペットが引き起こしている社会問題についての話もしていただきたいと伝えた。 ・ご自身の豊富な経験からくる視点を入れていただくこと。 ・実際にウサギの心音を聞くなど体験を入れていただくこと。 ・ウサギのみならず、身近な家族、友達から、多種多様な生物に至るまで全ての命あるものに対する「おもいやり」について思いをはせられるような内容にすること。 ・講座の後も、講師にお話いただいた内容を日々の授業で話題にさせていただくことにより、日常的に命や生物を大切にしていくことを考えていただくようにすること。 	
<p><u>学習内容と当日の様子</u></p> <p>○前半：ウサギについての理解</p> <p>ウサギの生態／ウサギの種類／餌について／ウサギの健康チェックポイント／ウサギの心音を聞いてみよう</p> <p>○後半：共に生きるということ</p> <p>獣医師のお仕事から「働くこと」や「命」について考える。／動物を知る、友達を知ることから身の回りの環境への関心を促す／地球上に住むありとあらゆる命ある生物、植物、人間のつながりや思いやりについて</p>	
<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>(うさぎの心音を聴く様子)</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>(スクリーンを使った授業)</p> </div> </div>	
<p><u>コーディネーターに対する感想</u></p> <p>○依頼者</p> <p>講師の先生と私たちが組み立てたい授業について十分に時間をかけて話し合うことが出来た。視覚資料を作成して下さったため子どもたちも集中して見入ることができ、また、授業後は将来の夢を語る児童の姿も</p>	

見られた。講師への質問も尽きず、授業中に質問できなかった児童がアンケートにも質問を書き連ねるほどだった。

○外部講師

コーディネーターにより、先生との結びつきを良くするための場作りをしていただいたので、学校の趣旨も十分に理解できた。また、講演を行う際、いつも出たところ勝負になり、最初は雰囲気をつかむのに苦労しますが、今回はコーディネーターの方が事前に、先生に具体的に児童たちの様子や態度、興味関心などを聞いておいてくれたので、子どもたちのモチベーションも高く、とてもやりやすかった。

その他

特になし

依頼者	豊川市立小坂井東小学校
タイトル	(1日目) 異常気象と温暖化について (2日目) 自然との共生～自然を守るために、私たちにできること～
<p><u>コーディネーターへの相談内容</u></p> <p>○依頼者のご要望</p> <p><1日目> 異常気象について授業を実施いただける講師の紹介</p> <p><2日目> 校内での学習発表会で小学5年生の環境学習の成果を発表する。小学5年生を対象に、「自然との共生」の観点で授業をしていただける講師の紹介</p>	
<p><u>コーディネーターの対応</u></p> <p>○外部講師の紹介</p> <p><1日目>NPO 法人気象キャスターネットワーク 虫鹿里佳氏</p> <p><2日目>愛知県環境部自然環境課職員</p> <p>○学習内容の提案</p> <p><1日目> 異常気象のみではなく、その要因であろう「地球温暖化」を含めた内容にすることを提案した。また、児童が発表会で発表をすることを踏まえ、講師が一方向的に話す講義だけでなく、これまでの学習から、また発表のためのまとめを作成する中で、児童が疑問に感じたことに対して応えていただく、やりとりのある方法で実施することを提案した。</p> <p><2日目> 児童は「きららの里」に出かけ、森林観察や多様な生き物に出会い、自然の持つ豊かさに触れている。また、学校周辺の自然環境についても、トンボがいるなど、きららの里との違いを感じつつも、自然や生き物に目がいくようになってきている。講師には、「人間にとって自然がなぜ大切なのか」「生きものと人間はどうつながっているのか」「今の自然環境はどうなっているのか」「児童にできることってあるのだろうか」といった点について、できれば写真など現状の様子がわかるものを使ってお話しいたきたいと提案をした。外部講師に知識や情報が児童の思考に届くような内容を提案した</p>	
<p><u>学習内容と当日の様子</u></p> <p><1日目>「異常気象と地球温暖化」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・身近な温暖化現象、異常気象について ・温暖化をとめるために自分達ができること <p><2日目>「自然との共生～自然を守るために、私たちにできること～」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・愛知県内のレッドデータブック掲載生物について ・自然が失われるとどうなるか ・自然からヒントを得ているもの ・地球を宇宙船に例えると 	
<div data-bbox="997 1630 1430 1951" data-label="Image"> </div> <p>(スライドによる授業【1日目】)</p>	

- ・生態系ネットワークとは
- ・私たちにできること



(授業中の児童の様子【1日目】)



(スライドを使った授業【2日目】)



(授業中の児童の様子【2日目】)

コーディネーターに対する感想

<1日目>

○依頼者

- ・「異常気象」「地球温暖化」「節電」など(子どもたちが)調べたい内容と合致するよう調整していただいた。
- ・動画やイラスト、グラフ、クイズなど子どもにも分かりやすい授業にいただいた。
- ・発達段階に応じた授業に調整していただいた。
- ・(環境学習コーディネート事業)に対して)環境について調べる時に「これが知りたい、聞きたい」と思ったことに対してピンポイントでアドバイスを頂けるので良かった。
- ・(環境学習全般に対する意見)体験的な学びや生の声を聞くことの大切さを改めて実感することができた。

○外部講師

- ・今年の暑さや台風など身近な話題を取り入れ、異常気象と温暖化を広く話すことができた。
- ・児童と一緒にできる実験や作業があればもっと楽しみながらの学習をすることができた。
- ・(環境学習コーディネート事業について)学校はどのように講師を探せばよいのか分からないと思う。今後役立っていくと思う。

<2日目>

○依頼者

- ・愛知県を中心に、環境破壊や環境破壊に関わる生態系の状況についての話を聞くことが出来た。
- ・丁寧で分かりやすい内容、話の仕方であった。
- ・パワーポイントなど丁寧に準備していただいた。
- ・時間の差し迫っていた中でベストを尽くして下さった。
- ・(児童の)発表の準備に大いに役立つ内容であり、自分の考えを後押ししてもらえるような内容であった。
- ・「緑と緑」「緑と水をつなげる」というお話はとても勉強になった。

○外部講師

- ・講師依頼は1ヶ月以上前までをお願いしたい。
- ・講師として活躍できる人材を増やすために、人材育成・人材発掘に重点を置いた取組を行って欲しい。

その他

特になし

依頼者	豊田市立東広瀬小学校
タイトル	第3回水質調査！小峰川探検
<p><u>コーディネーターへの相談内容</u></p> <p>○依頼者のご要望</p> <p>学区の川を利用して環境学習を実施したいが、水生生物や水質調査に関する専門知識がないので、専門家からアドバイスを得たい。</p>	
<p><u>コーディネーターの対応</u></p> <p>○外部講師の紹介</p> <p>矢作川の豊かできれいな水の回復、人々の生活にうるおいとゆとりを与える川づくりをめざして、調査・研究活動をしている豊田市矢作川研究所研究員・環境カウンセラーの内田朝子氏に依頼した。</p> <p>○学習内容の提案</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講師に対し、水生生物の名前だけでなく、川の生き物の生態や、川の水質や環境について話していただき、川の水がなぜ汚れているのか、人間の暮らしが川を汚していることに気づき、自分たちの暮らしを振り返りつつ、環境を良くするにはどうしたらよいか、川が汚れないために何をしたらよいかについて、児童の意見を引きだし、話し合う場を設けること、自分たちができることを発表する場を作ることを提案した。 ・依頼者に対し、学校の環境学習「川の環境調査」に即した学習内容にするために、依頼者の考えや授業構想を外部講師に伝え、当日の内容について事前に共有することを提案した。 	
<p><u>学習内容と当日の様子</u></p> <p>地域の川の、CODパケットテストによる水質検査、指標となる水生生物を捕まえ、観察する、水を汚さないために自分たちができることを考え、話し合う時間を持った。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p style="text-align: center;">(川の調査の様子)</p>	
<p><u>コーディネーターに対する感想</u></p> <p>○依頼者</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体験だけでなく、振り返りの時間を持つことをコーディネーターに提案いただき、子ども達の学習内容への理解が深まった。 ・振り返りのなかで、講師の話から、自分たちの生活と川の水、生き物を結び付けて考えることができた。 ・日程調整、授業内容の相談、組み立て等、打合せによりスムーズにできた。 ・コーディネーターがいることで、自分が講師を探して、迷って・・・ではなく、適切な講師や準備物、段取り等の事務的なことをすべてやっていただけた。とても忙しい中だったので助かった。 	

○外部講師

コーディネーターが先生との調整を図ることにより講師の役割に専念することができた。今後、生活排水やゴルフ場排水などの地域の土地利用との関連までの学習に発展できれば、さらに学習が深まるのではないかと考える。

その他

特になし

依頼者	西尾市立米津小学校
タイトル	愛・シンパシーワークショップ
<u>コーディネーターへの相談内容</u>	
○依頼者のご要望 川を汚さないために、生活の中で、自分にできることを考え、まとめる活動をしたい。	
<u>コーディネーターの対応</u>	
○外部講師の紹介 学校側が、愛・シンパシーワークショップに関心を示したため、この講座のできる講師の中から、講師を選定。また、学校で川の学習をおこなっていたため、事前の学習とつながるように水辺に関しての講座実績のある「だれでも環境学園」の小井出博文氏を紹介した。	
○学習内容の提案 ・講師に対し、教員の想い、学級環境、児童の環境への意識を伝え、ワークショップに入りやすい導入を考えてほしいと提案した。 ・ワークショップ型の授業は、体験を伴い、感性に響くが、その後の知識や学んだことをまとめ発表したり、行動に結びつけるフォロー授業が必要になる。その旨を教員に伝え、一過性で終わらせないように提案をした。	
<u>授業内容と当日の様子</u>	
動物役と人間役にわかれ、神経衰弱のルールでエサ取りのカードゲームを実施。動物の生態に応じて、取れるカードが決まっている。ゲーム終盤では、人間がブラックカードをまき、それを引いた動物役・人間役の児童は、ゲームオーバーとなる。上記ゲーム終了後、スライドを使って、実際に起こっている環境問題についてみんなで考える。	
	
(カードゲームの様子①)	(ゲーム後のまとめ①)
<u>コーディネーターに対する感想</u>	
○依頼者 ・明るくハツラツとした講師を選んでくれ、小学生にとってとても親近感がわく方でした。 ・カードゲームの目的が環境について理解することにつながっているのが、とてもよかった。 ・一回だけであったが、大分詳しく説明をいただいた。その後も、電話連絡、FAXと定期的に話しあえたので、よかった。 ・はじめてこのような事業を知った。これからも活用したいと思う。	

○外部講師

もう少しシンパシーゲームの時間があるともっと細かい部分まで子供たちとやりとりができる。

その他

○今後の展開

今回学習したことをもとに、1 月下旬に実施される授業参観で掲示する壁新聞の作成を行い、一年間の環境学習のまとめを行っていく。

依頼者	日進市立西小学校
タイトル	愛・シンパシーワークショップ
<p><u>コーディネーターへの相談内容</u></p> <p>○依頼者のご要望</p> <ul style="list-style-type: none"> ・調査・学習の成果を1月の発表会で表現する方法を学ばせたい。 ・川の学習を行ったため、水辺に関わる講座がよい。 ・調査・学習の成果を発表会で表現する方法を学ばせたい。 	
<p><u>コーディネーターの対応</u></p> <p>○外部講師の紹介</p> <p>学校で川の学習をおこなっていたため、事前の学習とつながるように水辺に関しての講座実績のある以下の2人の講師に依頼した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アースネットなごや 今井光代氏 ・藤前干潟を守る会 鈴木由美氏 <p>○学習内容の提案</p> <p>既に、学芸会で、環境劇を行っており、まとめとしての学習がある程度行われていると感じたが、学習から、行動（実践）にまでは移っていないということがわかり、その動機づけとなるような講座を提案。</p>	
<p><u>学習内容と当日の様子</u></p> <p>「愛・シンパシーワークショップ」</p> <p>動物役と人間役にわかれ、神経衰弱のルールでエサ取りのカードゲームを実施。動物の生態に応じて、取れるカードが決まっている。ゲーム終盤では、人間がブラックカードをまき、それを引いた動物役・人間役の児童は、ゲームオーバーとなる。上記ゲーム終了後、スライドを使って、ゲームではなく、現在、実際に起こっている環境問題について、みんなで考える。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>(カードゲームの様子)</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>(環境問題について意見を述べる児童)</p> </div> </div>	
<p><u>コーディネーターに対する感想</u></p> <p>○依頼者</p> <ul style="list-style-type: none"> ・打ち合わせが綿密だったので、当日までスムーズに準備ができた。 ・ゲーム導入から、環境問題への流れがスムーズだった。 ・準備するものや、ワークショップで使うものなど、具体的に、また詳細に打ち合わせができた。 	

○外部講師

- ・出前授業によって環境への想いを伝えることができる機会を設けてもらえて、とてもありがたかった。
- ・今後も、新しく受け入れてくださる学校を紹介していただきたい。

その他

○今後の展開

- 1月の授業参観での発表会に向け、エコアクションを行っていく。
(エコアクション・チェックシート等のデータをお渡しし、1月に向け、実践して頂く)

依頼者	弥富市立栄南小学校
タイトル	紙のリサイクルを学ぼう！「紙すき体験」
<u>コーディネーターへの相談内容</u>	
○依頼者のご要望	
・環境学習「リサイクルの体験学習」の講師紹介	
<u>コーディネーターの対応</u>	
○外部講師の紹介	
NPO 法人中部リサイクル運動市民の会の永田秀和氏、浅井久美氏に講師を依頼	
○学習内容の提案	
・単なる工作で終わらないように、振り返りをていねいに行うこと。	
・牛乳パックの紙すき体験を深める牛乳パックのリサイクルや3Rについての講座を行い、「自分達には何ができるのか」を考え、行動に結びつくようなプログラムにすること。	
・ごみ問題や資源枯渇の現状をわかりやすく説明すること。	
・リサイクルをすればよいということではなく、3つのRに対しての理解がされるよう工夫したプログラムにすること。	
・学校の授業に即した学習内容にするために、依頼者が作成している授業案の内容を外部講師にしっかりと伝え、当日の内容に反映すること。	
・ESDの視点や手法を交えて授業に取り入れることとして下記の3点を提案した。	
1. 知識や情報を教える受身の授業だけではなく、参加型体験型プログラムを授業にとり入れること。	
2. 環境問題を自分の問題として捉え、「自分事」として認識し、「自分は何をすればよいのか」等について、ペア学習、グループワーク、全体討論など話し合いの時間を持つこと。	
3. 未来の地球、未来の愛知、未来の弥富の環境を想像し、どんな町、環境だったら暮らしやすいか、そのためには今何をすればよいのかについて、話し合う時間を持つこと。	
<u>学習内容</u>	
「紙のつくりかた」の話からスタートし、森林を伐採して紙をつくっているから大事に使わないといけないうことや、使える紙は何度でも使うようにすることを伝えた。また、リサイクルだけではなく、リユース、リデュースについても伝えた。その後紙すきを体験。ラミネートをはがした牛乳パックを細かくちぎりミキサーにかけ、どろどろになった液体を木枠の紙すき道具ですいて、ハガキをつくる作業をした。最後に体験を踏まえ、「私にできること」を考える時間を持った。	
<u>コーディネーターに対する感想</u>	
○依頼者	
・紙すき体験に子どもたちが熱心に取り組むことが出来た。	
・子ども自身が環境について考えることができるよい学習であると思う。	
・学校側として、今まで環境学習コーディネーター事業というものを知らなかった。今後活用できる機会があれば利用させていただきたい。	
○外部講師	
・小学校での講座を行いたいと思っていたが、ハードルが高く、なかなか依頼がないが、このような機会が	

あると、学校とのつながりができるためありがたい。学校側からの信用が、コーディネート事業のおかげであったように思う。

- ・事前に紙について学んだことから、牛乳パックが何からできているか、どうしてリサイクルをすることが大切なのかを理解してもらえたように感じた。
- ・準備物を忘れて焦ったが、事前打合せや、準備の時間など、ゆとりのあるスケジュールを組んでいてくれたため助かった。

その他

特になし